

みつくら

令和 5年12月15日 第400号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

板垣さん達の作品も展示した「まなび学園祭」

花巻市の「まなび学園祭」は10月14日から2日間、花巻市生涯学園都市会館（通称まなび学園）で行われ、初めて「まなび学園祭」を訪れた。俗に言う「花巻市の文化祭」と思っていたら全く違って「学び学園」で学んでいる「シニア大学生」達の学習発表会であった。「花巻市の文化祭」に相当する催しは、別途文化会館で「花巻市民芸術祭花巻会場」として開催とのこと。

大瀬川から花巻市シニア大学に何人入っているのかは解らないが、初めて入ったこのまなび学園祭は、想像したより大規模で、まなび学園の1階から3階まで全館使ったの催しだった。1階から順々に視て回ったが、各展示場には係員がいて好地や新堀、八重畑など旧知の方々が当番で説明してくれた。初めに目に付いたのは「花つなぎの会」所属の板垣福子さんの手揚げバック2点だった。淡い色合いで作った手揚げバックは、一番目立つ中央に掲げられていた。順次回って見ていたなら板垣寛さんの「花巻傘」と「川柳」にも出会った。花巻傘は、直径45センチほどの傘で、貼った和紙に川柳が書かれ、また川柳短冊2枚にそれぞれ「好奇心生きる意欲の道しるべ」「いいですね長所を拾うところがけ」と川柳が書かれていた。

板垣福子さんにお聞きすると学び学園のシニア大学は、60歳以上なら誰でも入学できて、最初の1年次、2年次を経ると大学院課程に進み、好きな学部で（芸術学部、学芸学部、保体学部、ポラン学部、生活学部）6年間を経た後に修学院に4年間在学するという。勉強になった「まなび学園祭」であった。

2団体と1社が表彰

みつくら11月15日号にあじさいの会が表彰されたのを掲載したが、見落としとしてした部分があったので紹介する。

11月9日に行われた花巻市文化会館で行われた第9回花巻市社会福祉大会の席上、花巻市社会福祉協議会長から大瀬川では「あじさいの会」の他に2団体と1社が表彰された。

表彰分野は「広く社会に顕彰するもの・社会福祉向上に貢献や経済的に援助協力した個人並びに団体」で3個人49団体に感謝状が贈られた。大瀬川からは「いしどりやワンデースクール」と「くずまる健康クラブ」であった。11月に掲載した「あじさいの会」は、同じ分野であったが感謝状ではなく表彰状であった。「いしどりやワンデースクール」は代表の板垣あやこ子さんが、「くずまる健康クラブ」は代表の菅原敬子さんが受け取った。いしどりやワンデースクールは、子育てサークル団体で、毎月おしゃべりサロンを開催している他、親子で楽しめるイベント・ワークショップ・オンラインサロン・講演会等を開催している。板垣あやこさんは平成29年8月26日付け岩手日報の「人」欄にも紹介されている。くずまる元気クラブは、平成30年1月に7区で「元気でまっせ体操」を行うために作られた組織。この組織の構成団体は、7区自治公民館、大瀬川高齢者クラブ、くずまるの花の方で規約や役員など決めずに菅原敬子が連絡役を担い、毎週木曜日に7区自治公民館で例会を行っている。花巻市社会福祉大会で表彰されたのは他に島山造園土木も感謝状が贈られた。贈呈理由は多年にわたり多額の共同募金をされた功績によるものであった。

大瀬川の団員が消防演習

花巻市消防団の消防演習は11月5日に朝日橋下流で行われ大瀬川の消防団員全員が参加した。市消防団第13分団第1部は分裂行進と車両部隊に加わり、第2部は分裂行進に加わったが、放水訓練には第1部も第2部も該当しなかった。かつてはラップ訓練もあったが、熊谷恭一さんが退団後は現在ラップ手がない。現在の大瀬川にある第1部と第2部の消防団員の活動は、全国で行われる春の火災予防週間（2月末～3月6日）と秋の火災予防週間（11月9～15日）には管轄内をパトロールしながら音声で啓発活動を行っている。他にも花巻市では、夏に「夏の特別火災予防運動」も行っている。また、全戸を巡回しての火防点検を3ヶ月おきに年4回実施していて普段の防災に努めている。毎年11月には、消防設備点検と称して検査員が詳しく点検し優秀賞や努力賞などが授けられる。全国的に団員の定員割れが報道されている今日、花巻市でも同様で少ない団員での活動に感謝している。

草刈り作業に188万円

去る11月18日に大瀬川美土里の会（高橋義晃代表）では、農地維持活動の堰払いと草刈り作業分を対象者74名に1,886,000円を支払った。その後、中間監査と役員会を行い長寿命化1路線を年内中に工事終了予定を決定した。

九区で合同の収穫感謝祭が行われる。

九区では、11月15日に第一老人クラブ（熊谷政男会長）とたんぼぼの会（熊谷幸子会長）合同の収穫感謝祭が行われ、28名が参加した。活性化会議に保管されている記録DVDの中から、運動会（平成22年）・敬老祭アトラクション（平成18

年）・神楽の面などを鑑賞した。どれも15年程前の映像のため、「みんなわげな!」や「あそこの童ちっちな」などの声が出た。途中からは、会が準備したお弁当を頂きながら楽しく鑑賞した。

計 報

○兼松家の菅原重子さんは、10月31日に81歳で亡くなられました。ご主人の靖夫さんは昨年10月に亡くなったばかりで続く不幸に言葉もありません。菅原さんは好地の出身で、花巻北高時代は体操の選手で活躍したのを思い出します。菅原さんは、卒業とともに石鳥谷町農協に入り、50歳で石鳥谷町農協を退職し、以後大瀬川のみならず、石鳥谷地域で多くの役職を担った方でした。農協職員時代の昭和57年には、岩手県農協婦人組織協議会主催の米利用料理コンクールで努力賞を受賞した記録が残っています。その後は、石鳥谷町農協婦人部大瀬川婦人部長、大瀬川婦人協議会会長、石鳥谷町農協女性部長。花巻農業協同組合女性部石鳥谷支部長、石鳥谷町明るい選挙推進競技会理事、石鳥谷町婦人団体連絡協議会長、石鳥谷むらづくり塾副塾長、岩手県JA女性組織協議会副会長、石鳥谷町食生活改善推進協議会副会長、など多くの役職について他にも、石鳥谷町長表彰（更生保護女性の会）、花巻市長表彰（男女共同参画推進活動）を受賞しました。また、大瀬川歴史探訪講座で「大瀬川と皇室」の講師などで活躍していましたが、体調を崩してからは療養に専念していました。地域に多くの貢献をなされました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○高井沢家の菅原カホルさんは、11月19日に97歳で亡くなられました。菅原さんは由緒ある高井沢家のお生まれでした。高井沢家は今から250年前に中ノ家から分家した旧家で、藩政時代は代々嘉藤治を襲名した家柄でした。ご主人の六郎さんは、北湯口の出身で、若い頃から高島屋酒造店（青森）や山星酒造（埼玉）、さらには寿酒造（青森）や田中酒造（茨城）に酒造工として出稼ぎ、その後も長い間建設会社に出稼ぎをしていましたので、農業は菅原さんが主となって働いた方でした。近所の方々は「菅原さんは、とにかく働いた方でしたよ。趣味？、あんげ（あれほど）稼いだんだもの、趣味も旅行も聞いたことがないよ」と話しておられた。菅原さんは、農業の傍ら80歳を過ぎるまで島山造園土木で島山弥一さん、菅原フキ子さん、佐藤ケイ子さん、菅原富男さん達と働いた方でもありました。いつも、穏やかな笑顔で接していただきました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訂 正

熊谷光さん(ひかる・木ノ宮)→熊谷光さん(こう・木ノ宮)でした。

みつくら号数 第396号→第398号でした。